

## 要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2, 6-ジクロロトルエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験

試験番号 No. 2006-生54

### 試験法ガイドライン

本試験は、厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環境企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日、平成 18 年 11 月 20 日一部最終改正)に準拠して実施した。

- 1)被験物質 : 2, 6-ジクロロトルエン
- 2)暴露方式 : 止水式
- 3)供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間 : 48 時間
- 5)試験濃度(設定値) : 対照区, 0.18, 0.32, 0.46, 0.68, 1.0, 1.8 mg/L  
公比 ; 1.8(ただし、0.32 ~ 1.0 mg/Lは公比 1.5 )
- 6)試験溶液量 : 100 mL/容器
- 7)連数 : 4 容器/試験区
- 8)供試生物数 : 20 頭/試験区 (5 頭/容器)
- 9)試験温度 : 20±1 °C
- 10)照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11)給餌 : 無給餌
- 12) pH : 試験溶液の pH調整は行わない
- 13)分析法 : HPLC 法

## 結 果

### 1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質濃度の変動は揮散による濃度減少と考えられたため、暴露開始時および暴露終了時の測定値を用いて幾何平均値を求め、各影響濃度を算出した。

### 2) 24 時間暴露後の結果

50 %遊泳阻害濃度 ( $EC_{50}$ ) : 0.48 mg/L (95 %信頼限界 : 0.42 ~ 0.56 mg/L), Logit

0 %阻害最高濃度 : 0.28 mg/L

100 %阻害最低濃度 : 1.2 mg/L

### 3) 48 時間暴露後の結果

50 %遊泳阻害濃度 ( $EC_{50}$ ) : 0.38 mg/L (95 %信頼限界 : 0.32 ~ 0.42 mg/L), Logit

0 %阻害最高濃度 : 0.28 mg/L

100 %阻害最低濃度 : 0.65 mg/L